

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : フォックLC #185 B 剤
 会社名 : 株式会社ビルドランド
 住所 : 石川県金沢市八日市3-514
 電話番号/FAX番号 : 電話 076-269-3414 / FAX 076-249-1663
 緊急連絡先 : 同上
 担当部門 : 技術部
 推奨用途及び使用上の制限 : 工業用、一般化学品
 整理番号 : CEL-002B

2. 危険有害性の要約

GHS分類	危険有害性クラス	危険有害性区分
物理化学的危険性	引火性液体	—
	自然発火性液体	—
	自己発熱性化学品	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入:蒸気)	区分4
	急性毒性 (吸入:粉じん/ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷/刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 (慢性)	分類できない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: ・吸入すると有害
 ・軽度の皮膚刺激
 ・吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
 ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

【予防策】

: ・屋外または換気の良い場所でのみ使用し、粉じん/ミスト/蒸気を吸入しないこと
 ・指定された個人用保護具(安全帽、保護眼鏡、保護面呼吸保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴など)を着用すること

- 【対応】 : ・吸入した場合は空気の新鮮な場所に移して休息させ、
医師の手当を受けさせること
・皮膚(または髪)に付着した場合は、流水/シャワーと
石鹼でよく洗い、直ちに医師の手当を受けること
・吸入、接触、飲み込んだ時や気分が悪い時、または暴
露の懸念がある場合は医師の手当を受けること
- 【保管】 : ・保管する場合は、容器を密閉して、涼しく換気の良い
場所で施錠して保管すること
- 【廃棄】 : ・内容物/容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、
都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託
すること
・使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃
棄すること

3. 組成及び成分情報

- 単一品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : イソシアネート基末端ウレタン樹脂

成分名	含有率(%)	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
ウレタン樹脂	100	既存	既存	非公開
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.4	2-2863	既存	822-06-0

4. 応急措置

下記の応急処置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取り、指示に従う。

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静にさせる。
直ちに医師に連絡し、医師の手当、診断を受ける。
呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め呼吸気
道を確認した上で人口呼吸(又は酸素吸入)を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水と石鹼で洗う。
汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、取り除く。
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合には速やかに医師の手当を受
ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間洗浄した後、眼科医の手当を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行
きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて
洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水、又は牛乳を飲ませて直ちに医
師の手当を受ける。
無理に吐かせてはならない。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末ドライケミカル、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂、大量の噴霧水。
使ってはならない消火剤 : 棒状水

- 特定の消火方法 : 粉末ドライケミカル又は炭酸ガスで初期消火にあたる。
火災が広がった時は大量の噴霧水で消火する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
着火していないドラム設備などに放水し、延焼・加熱防止や破裂の防止に努める。
- 消火を行なう者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。
燃焼又は高温により有毒ガスが生成するので、自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり蒸気を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法・機材

- : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
回収した容器は密閉せず、回収した量の10倍以上となる発泡に注意し、中和／除去の処置を取る。

<中和剤の例>

水／濃アンモニア水／液体洗剤

=90~95/3~8/0.2~0.5(重量比)

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。

水上に流出した非水溶性の製品は、吸収剤を使用して回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

- 技術的対策 : 取り扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、また、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- 局所排気・全体排気 : 取り扱う場合は、局所排気内、または全体排気の設備のある場所で取り扱う。
- 注意事項 : 接触、吸入又は飲み込まない。取り扱い後はよく手を洗う。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。
- 安全取り扱い注意事項 : 緊急時に備えて、十分な数の保護具を常備する。
容器の取扱いは転倒・落下に注意する。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。
通風を良くし、ガス、又は蒸気が滞留しないように容器を密閉して保管する。
酸化剤ならびに酸化性の強い物質との保管を避ける。火気厳禁。
- 安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 取り扱い場所には、全体換気装置を設置する。 できるだけ密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。 高温で使用の場合は、密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。 取り扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 0.005ppm(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)
ACGIH	: TLV-TWA 0.005ppm(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)
保護具	
呼吸器の保護具	: 空気呼吸器、送気式マスク、防毒マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 安全帽、保護服、保護前掛け、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外 観	
物理的状态	: 液体
形状	: 粘稠
色	: 無色
臭 気	: 僅かな刺激臭
pH	: -
融 点/凝 固 点	: 知見なし
沸 点	: 知見なし
引 火 点	: 223℃
爆 発 特 性	: 知見なし
蒸 気 圧	: 知見なし
蒸 気 密 度	: 知見なし
密 度(比 重)	: 1.12~1.18
溶 解 性	: 知見なし
オクタノール/水分配係数	: 知見なし
分 解 温 度	: 知見なし

10. 安定性及び反応性

安 定 性	: 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災になることがある。
避けるべき条件	: 高温の物体、火花、裸火、静電気火花
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	
(経口)	: 「分類できない」
(経皮)	: 「分類できない」
(吸入:蒸気)	: LD50 4998ppm(計算値) 「区分4」
(吸入:粉じん/ミスト)	: 「分類できない」
皮膚腐食性/刺激性	: 「区分3」
眼の損傷性/刺激性	: 「分類できない」

呼吸器感作性	: 「区分1」
皮膚感作性	: 「区分1」
生殖細胞変異原生	: 「分類できない」
発がん性	: 「分類できない」
生殖毒性	: 「分類できない」
特定標的臓器毒性	
(単回暴露)	: 「分類できない」
(反復暴露)	: 「分類できない」
吸引性呼吸器有害性	: 「分類できない」

<上記GHS分類の区分判定を実施した際の注意点>

注意1 ウレタン樹脂はポリマー化合物なので吸入毒性 LD50 は∞とし、その他の項目は分類できないとした。

注意2 ヘキサメチレン=ジイソシアネートのGHS分類は、政府公表結果を採用して評価した。

12. 環境影響情報

水性環境急性有毒性	: 「分類できない」
水性環境慢性有毒性	: 「分類できない」

<上記GHS分類の区分判定を実施した際の注意点>

注意1 ウレタン樹脂はポリマー化合物なので吸入毒性 LD50 は∞とし、その他の項目は分類できないとした。

注意2 ヘキサメチレン=ジイソシアネートのGHS分類は、政府公表結果を採用して評価した。

13. 廃棄上の注意事項

残余廃棄物	: 廃棄物においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適性に処理する。
汚染容器・包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国内規制	陸上輸送	: 消防法、道路法等に定められている運送方法に従う。
	海上輸送	: 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
	航空輸送	: 航空法に定められている輸送方法に従う。
国連分類／国連番号		: 非該当
容器等級		: ー
国連品名		: ー
輸送の特定の安全対策及び条件		: 火気厳禁。目に入れたり蒸気を吸入しないこと。 容器の破損、漏れがないことを確かめること。 輸送前に容器の破損、腐蝕、漏れなどがないことを確認する。 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
応急処置指針番号		: 非該当

15. 適用法令

化 審 法	特定化学物質	: 非該当
	監視化学物質	: 非該当
消 防 法	危険物	: 危険物第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ

安 衛 法	危険物	: 非該当
	表示対象物質	: 非該当
	有機則	: 非該当
	特化則	: 非該当
	通知対象物質	: ヘキサメチレン＝ジイソシアネート(No.519) (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
毒物、劇物取締法		: 非該当
化 管 法 (PRTR法)		: 非該当
船 舶 安 全 法		: 非該当
航 空 法		: 非該当
そ の 他		: 一般論としては廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚染防止法、道路運送車両法、作業環境測定法、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律などが関与する。

16. その他の情報

引用文献	: 外部機関による測定データ 製品評価技術基盤機構(NITE)のGHS分類結果 JIS Z 7252 :2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法 化学物質排出把握管理促進法のMSDS制度について(経済産業省) GHS対応ガイドライン、ラベル作成指針(日本化学工業協会)
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ※ ここに記載した内容は、当社の最善の調査に基づくものですが、製品の保証書ではありません。
また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合、自らの責任において用途/用法に適した安全対策を講じた上でご使用ください。